

サイクロンクリーナー ECC-1000

取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

もくじ	ページ
安全上のご注意	2
安全上のお願い	3
各部の名称	4
ご使用前の準備	5
使い方	6
収納のしかた	8
ゴミを捨てる	9
お手入れのしかた	10
故障かな?と思ったら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「強制」内容です。

警告

 禁止	● 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。 ● 水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない。 ショート・感電・故障の原因になります。
	● 絶対に分解・修理・改造はしない。 発火・ケガ・異常動作の原因になります。
 必ず実施	● 電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う。 火災・感電の原因になります。 ● 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよくふき取る。 湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。
	● 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差込む。 発火・ショート・感電の原因になります。
 禁止	● ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。 感電・やけど・ケガの原因になります。
	● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。 発火・ショート・感電の原因になります。
	● 電源コードは黄色い印以上は引き出さない。 電源コードが断線したり接続部が破損し、火災・感電の原因になります。
	● 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない。 ● 電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	● 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない。 火災の原因になります。



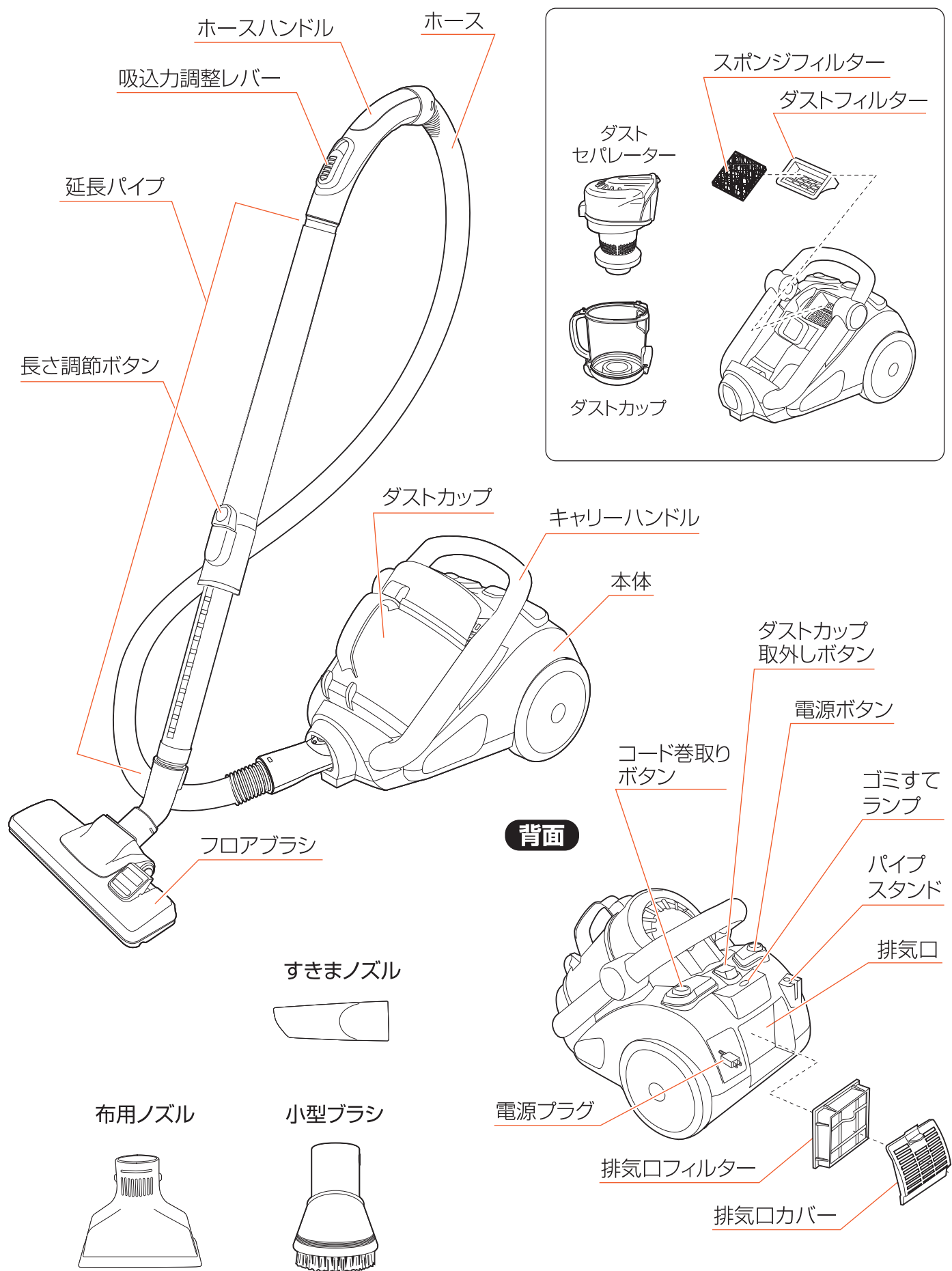
注意

 禁止	● 火気に近づけない。 本体・電源コードなどの変形によるショート・発火の原因になります。
	● 吸込口をふさいで長時間運転しない。 ● 排気口をふさがない。 過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。
	● 破れたり、破損したフィルターは使わない。 故障・性能低下の原因になります。
 必ず実施	● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。 電源コードが断線し、発火・ショート・感電の原因になります。
	● 電源コードは、まっすぐ引き出す。 電源コードが本体引き出し部とこすれて破損し、発火・ショート・感電の原因になります。
	● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になります。
 禁止	● 持ち上げるときは、必ずキャリーハンドルをもつ。 本体が落下して、ケガや床にキズがつく原因になります。
	● 本体にはのらない。子どもには遊ばせない。 ケガや本体破損の原因になります。
	● ホースは踏んだり、無理に曲げたりしない。 ホース破損の原因になります。
 禁止	● 運転中にコード巻取りボタンやダストカップ取外しボタンを押さない。 ケガや本体破損・故障の原因になります。

安全上のお願ひ

- この掃除機は室内用です。屋外では絶対に使わないでください。
- 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。また、清掃以外には使用しないでください。
- 電源コードは最後(黄色の印)まで引き出して使用ください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
・液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸込力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- フロアブラシ・すきまノズル、小型ブラシを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。本体を無理に引っ張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。キズがついたり破損する原因になります。
- ダストカップ内のゴミは「ゴミすて」ライン以上になる前、「ゴミすて」ランプが点灯する前に捨ててください。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 穴があいたり、キズがついたホースは使わないでください。

各部の名称

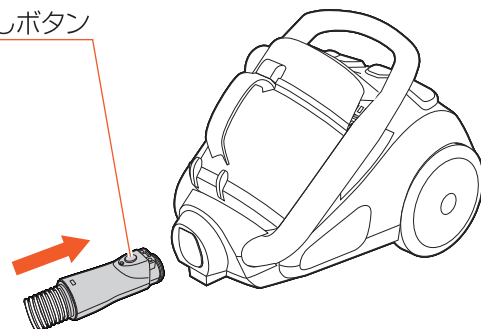


ご使用前の準備

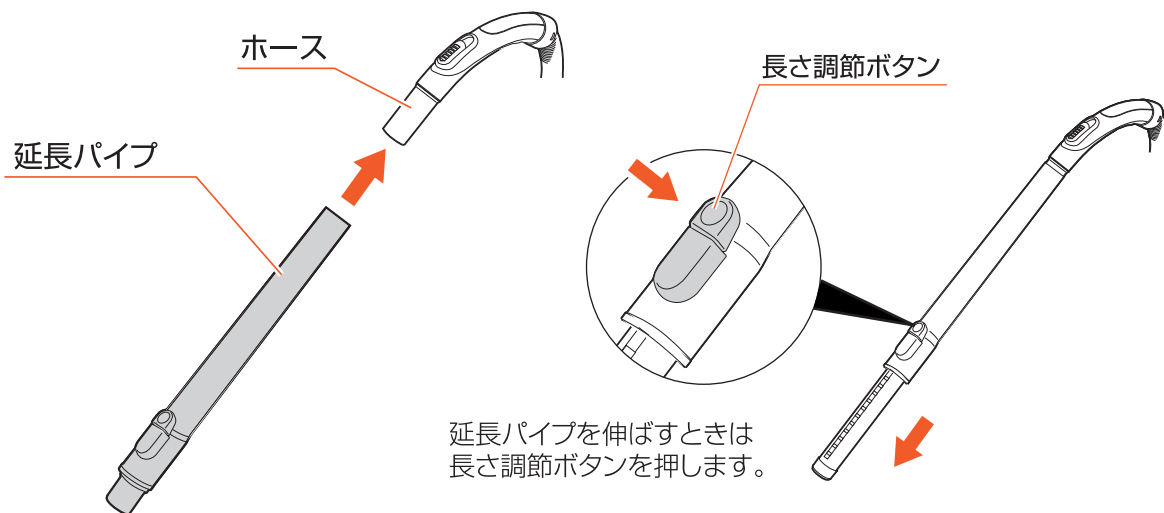
1 本体にホースを接続する

ホースを外すときは、ホース取外しボタンを押しながら抜きます。

ホース取外しボタン

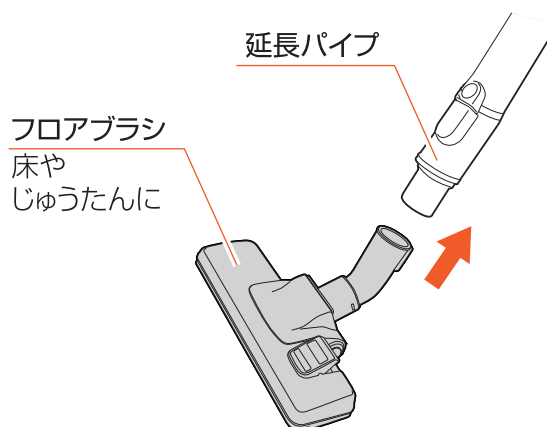


2 ホースに延長パイプを取付ける



3 フロアブラシを取り付ける

フロアブラシを延長パイプに取り付けます。



注意

●穴があいたり、キズがついたホースは使わないでください。

使い方

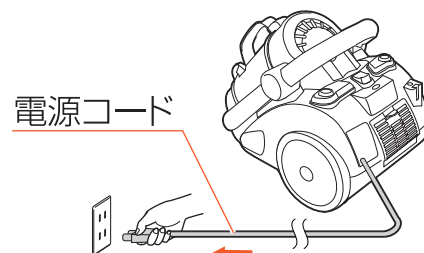
■ 運転のしかた

⚠ 注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸込力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- フィルターやホースが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが発熱し、安全のために製品の電源が入らなくなります。

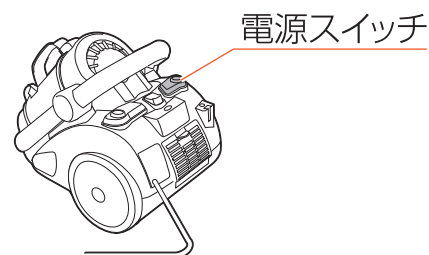
1 電源コードを差し込む

電源プラグをコンセントに差込みます。



2 電源を入れる（運転開始）

電源スイッチを押して電源を「ON」にします。

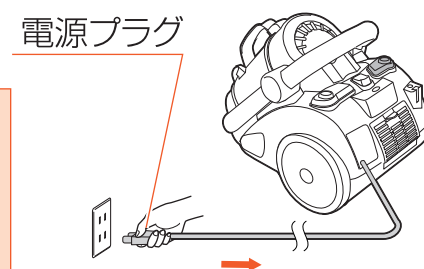


3 電源を切る（運転終了）

電源スイッチを「OFF」にします。その後電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠ 注意

- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。
- ご使用が終わったら電源コードをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。



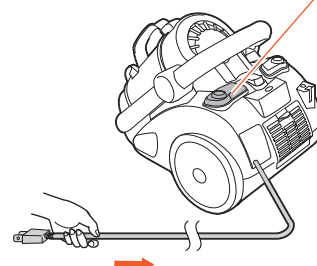
4 電源コードを収納する

コード巻取りボタンを押して電源コードを収納します。

⚠ 注意

- ご使用後、電源コードはコード巻取りボタンを押して必ず本体に巻取ってください。
- 電源コードの本体巻取りはプラグを持った状態で行ってください。電源プラグの跳ね上がりでケガをしたり家具などの破損の原因になります。

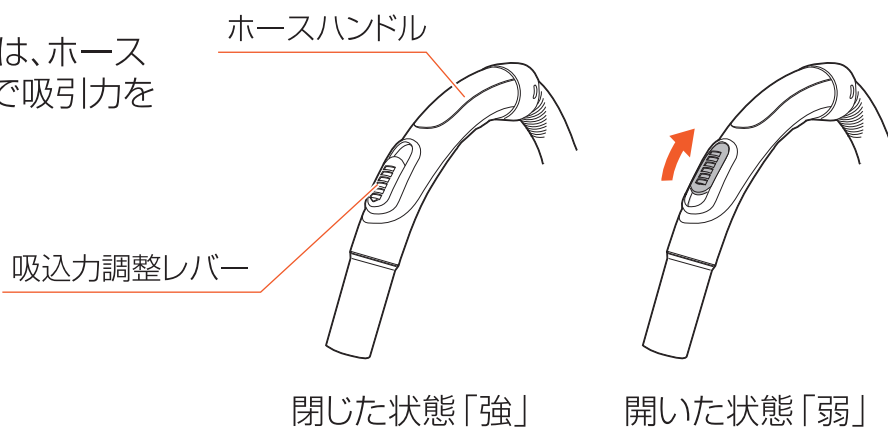
コード巻取りボタン



使い方 つづき②

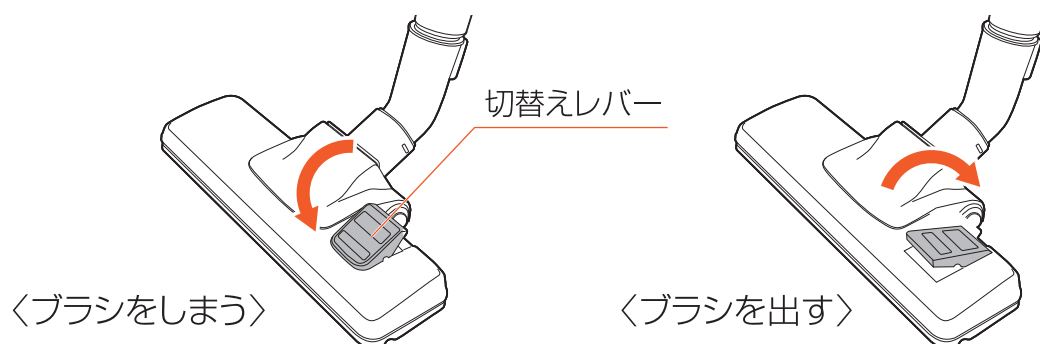
■吸引力の調整

フロアブラシが動きづらい時は、ホースハンドルの吸込力調整レバーで吸引力を弱めることができます。



■切替えレバー

切替えレバーで、フロアブラシのブラシを出し入れができます。切替えレバーはしっかり押し込んでください。



■付属品の交換ノズル

ホースハンドルに取付けて使用します。



注意

●すきまノズル、布用ノズル、小型ブラシを床・壁・家具などに強く押し付けたりぶつけないでください。キズがついたり破損する原因になります。

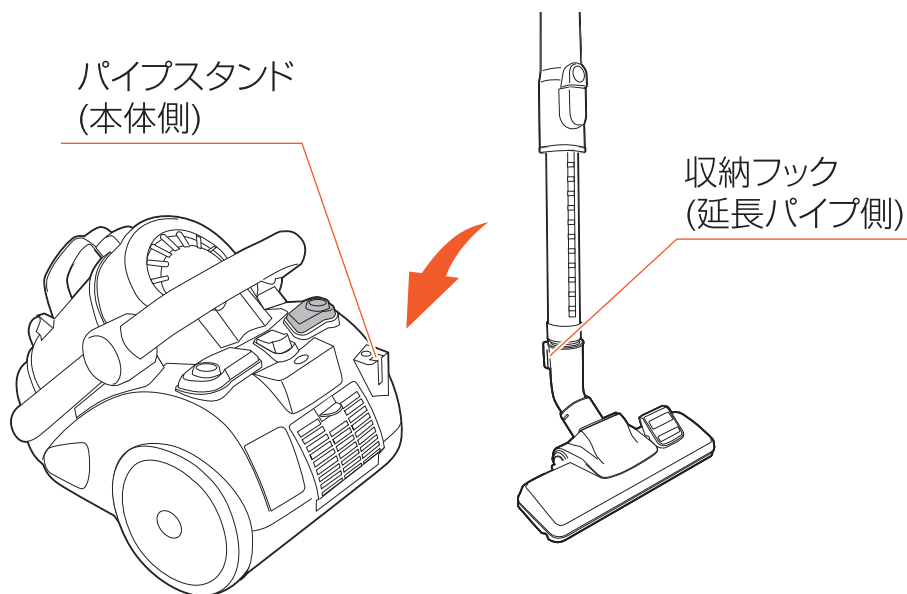
収納のしかた



注意

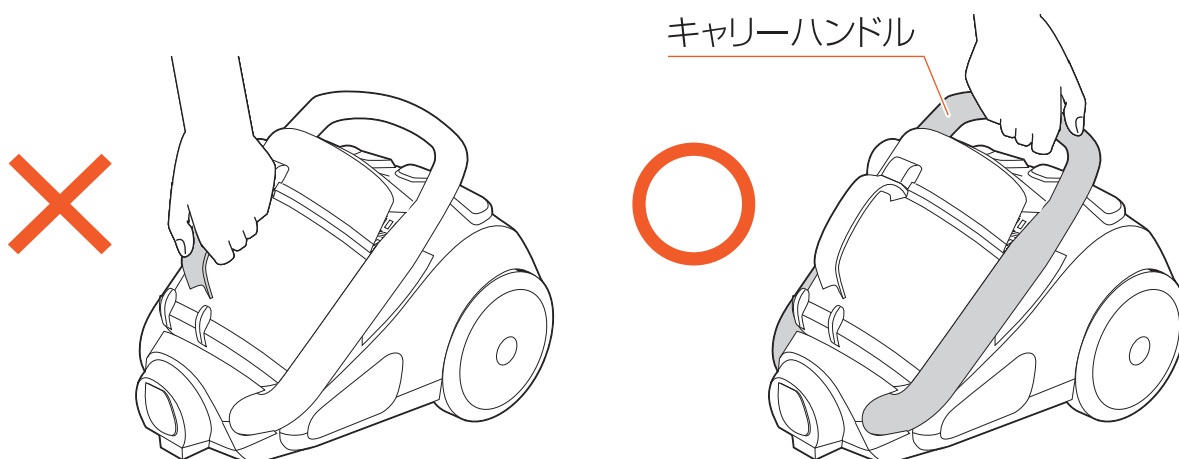
- ご使用が終わったら電源コードはコード巻取りボタンを押して必ず本体に巻取ってください。小さいお子様などがコードで遊ぶと大変危険です。また電源プラグを誤って踏んだりするとケガの原因になります。

フロアブラシ側の収納フックを、パイプスタンドに差込みます。
その後安全で安定した場所に収納してください。



注意

- 持ち運ぶ際には、必ずキャリーハンドルを持ってください。
ダストカップハンドルを持って持ち運ばないでください。



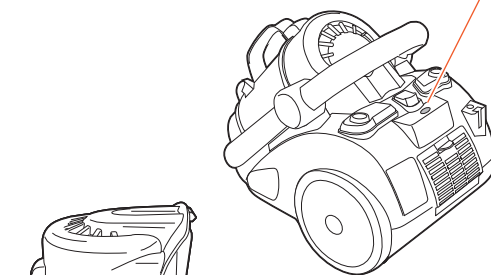
ゴミを捨てる

■ダストカップからゴミを捨てる

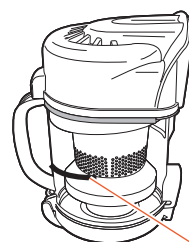
⚠ 注意

- ダストカップの「ゴミすて」ライン以上、または「ゴミすて」ランプが点灯するまでゴミをためないでください。吸引力が低下します。
- ゴミはこまめに捨ててください。
- 安全のために、ダストカップからゴミを捨てる際には、必ず電源を「OFF」にして、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本体運転中にダストカップを取外さないでください。

ゴミすてランプ



ゴミすてライン

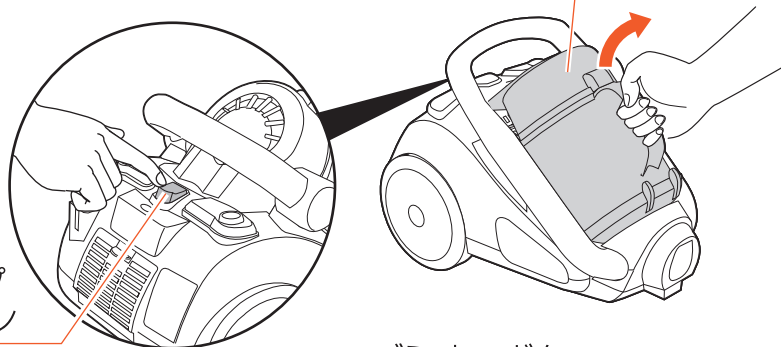


ダストカップ

1 ダストカップを取外す

ダストカップ取外しボタンを押しながらダストカップを本体から取外します。ボタンを押さずに無理に取外さないでください。

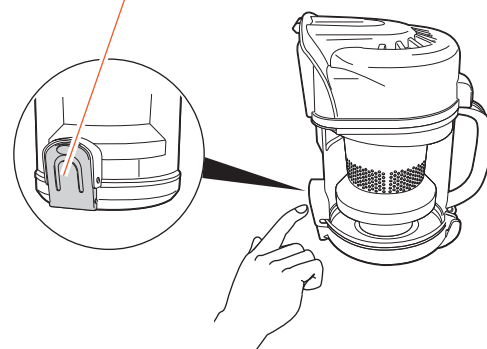
ダストカップ
取外しボタン



ゴミすてボタン

2 ゴミを捨てる

ダストカップのハンドルを持ってゴミすてボタンを押します。底蓋が開き、ゴミを落とすことができます。カップの側面を軽くたたいて中のゴミを落としてください。

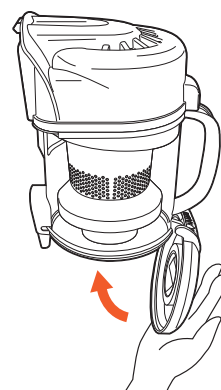


3 底蓋を閉める

カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

4 本体に取りつける

ダストカップを本体に取りつけます。



お手入れのしかた



警告

- お手入れの際には、必ず電源を「OFF」にして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ダストカップ、フィルター類以外は絶対に水洗いしないでください。感電したり故障する場合があります。



注意

- ダストフィルターやノズルが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが発熱し、安全のために製品の電源が入らなくなります。

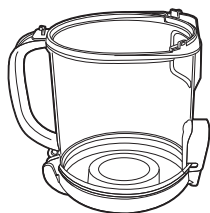
■本体、付属品のお手入れ

布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、充分によく絞ってから拭いてください。

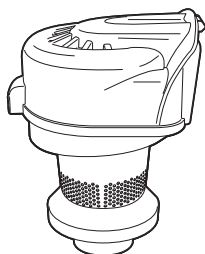
※お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。

■ダストカップ、フィルター類を水洗いする

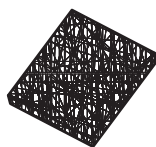
下図のものは水洗いすることができます。それ以外のものは水洗いしないでください。ダストカップのゴミはあらかじめ捨ててから行ってください。



ダストカップ



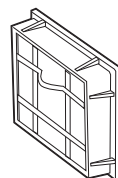
ダストセパレーター



スポンジフィルター



ダストフィルター



排気口フィルター

流水で水洗い

水につけて
ゆすぐ・洗う

十分に乾燥させた後、フィルター類、ダストセパレーターを元の通りに取付け、最後にダストカップを本体に取り付けます。
乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因となります。

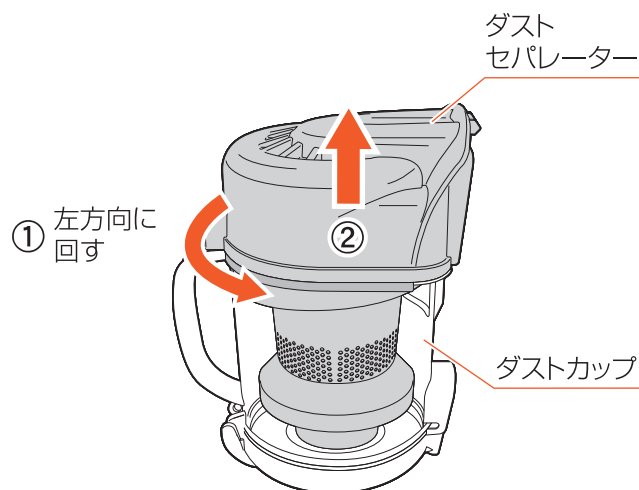
お手入れのしかた つづき②

■ダストカップ、 ダストセパレーターのお手入れ

1 ダストカップを取外す

2 ダストカップからダストセパレーターを取外す

ダストセパレーターを左方向に回し、
ダストカップから取外します。

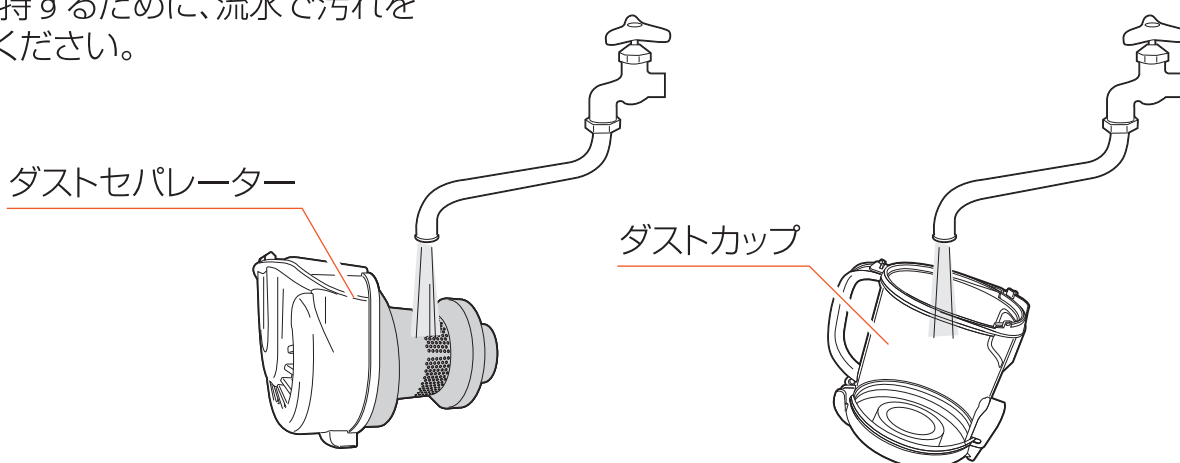


3 ゴミ、ホコリを取除く

軽くダストセパレーター、ダストカップをたたいてゴミを落とします。

4 流水で水洗いをする

性能を維持するために、流水で汚れを
落としてください。



5 本体に取付ける

よく乾燥させてから、逆の手順で本体に取付けます。



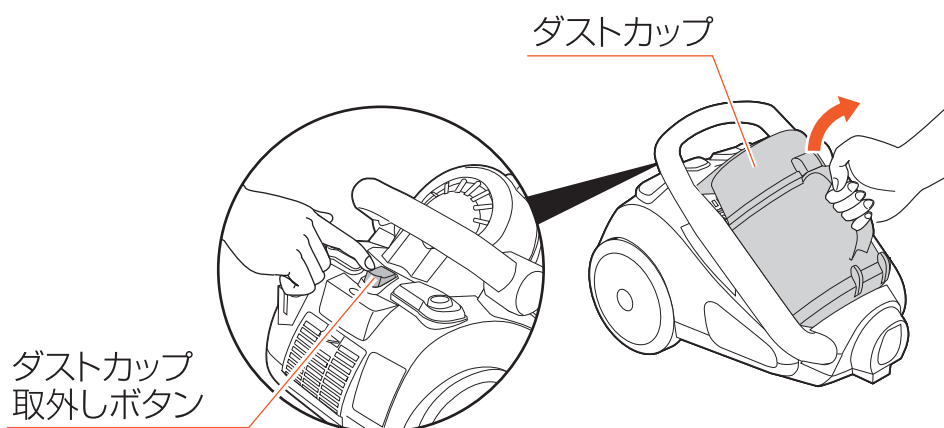
注意

●表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。
風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。

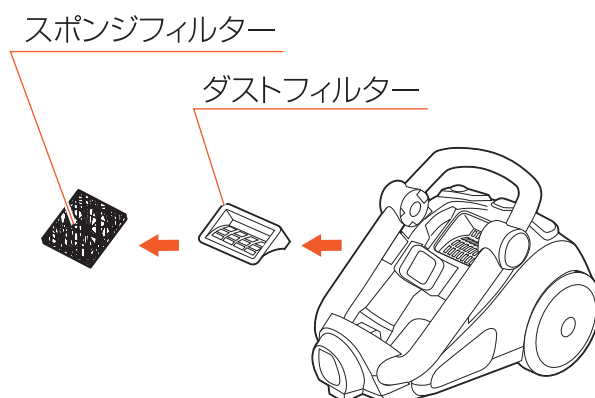
お手入れのしかた つづき③

■ スポンジフィルター、 ダストフィルターのお手入れ

1 ダストカップを除外す



2 スポンジフィルター、ダストフィルター の順に本体から取外す



3 ゴミ、ホコリを取除く

軽くスポンジフィルター、ダストフィルターをたたいてゴミを落とします。

汚れが落ちない場合は水で洗ってください。

水を入れた容器にフィルターを浸け、ゆすいで汚れを落とします。

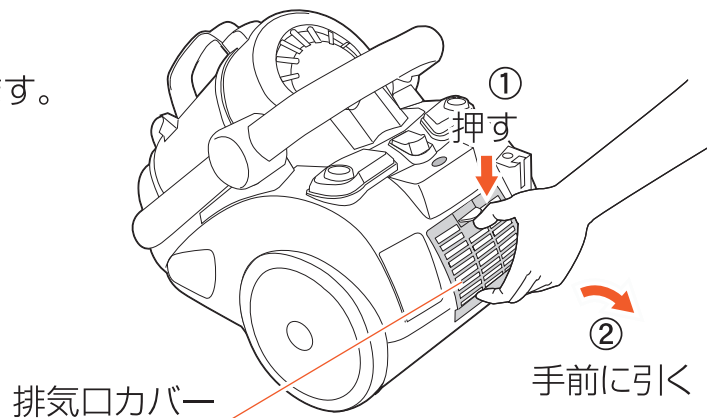
4 本体に取付ける

よく乾燥させてから、ダストフィルター、スポンジフィルター
の順で本体に取付け、ダストカップを取付けます。

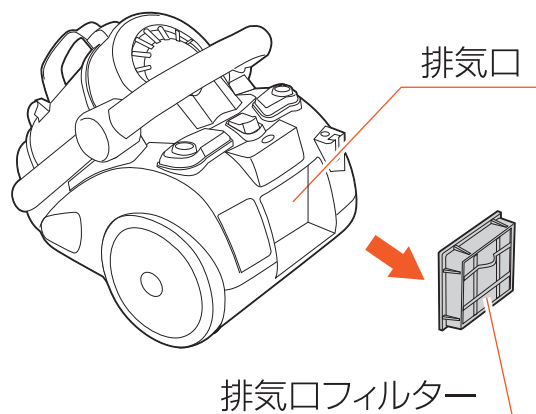
お手入れのしかた つづき④

■排気口フィルターのお手入れ

- 1** 排気口カバーを本体から取外す
排気口カバーのツメを押しながら取外します。



- 2** 排気口フィルターを取外す
排気口から排気口フィルターを取外します。



- 3** ゴミ、ホコリを取除く
軽く排気口フィルターをたたいてゴミを落とします。

汚れが落ちない場合は水で洗ってください。水を入れた容器に排気口フィルターを浸け、ゆすいで汚れを落とします。

- 4** 本体に取付ける
よく乾燥させてから、排気口フィルターと、排気口カバーを取付けます。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置	参照ページ
運転しない	●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない	電源プラグをしっかりと再接続し、電源スイッチを再度押す	P.6 参照
吸引力が弱い	●フロアブラシ、延長パイプ、ノズルが詰まっている ●ダストカップに「ゴミすて」ライン以上にゴミがある ●フィルター類にゴミやホコリが溜まっている ●ダストカップが本体ときちんと勘合していない	●中を点検し、詰まっているものを取り除く ●ダストカップのゴミを捨てる ●フィルターのお手入れをする ●一度本体からダストカップを外し、フタの状態を確認する	P.9、10、11、12、13 参照
運転音が大きくなった	●フィルターの汚れがひどい ●吸込口やノズルに大きなゴミがつまっている	詰まっているゴミを取り除く	
電源コードが全て巻取りきれない	●巻取りの状態が曲がっている ●一カ所に片寄っている	電源コードを2mほど引き出し、再度巻取りボタンを押して巻込みをする	P.6 参照
電源コードが引き出せない	●巻取りの状態が曲がっている ●一カ所に片寄っている	巻取りボタンを押しながら、少しずつの長さで巻取りと引き出しを交互に行う ※無理に引っ張らないでください	

それでも解決できないときは

ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電源	AC100V (50Hz/60Hz共通)	質量	約6.8kg (本体、ホース、パイプ、フロアブラシ)
消費電力	1000w	製品寸法	幅約300×奥行約427× 高さ約320mm
吸込仕事率	180W		
集塵容積	0.6L	コード長	5.0m

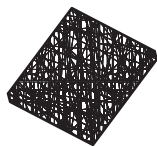
セット内容	掃除機本体 フロアブラシ(1個) すきまノズル(1個) 小型ブラシ(1個) 布用ノズル(1個) 延長パイプ(1本) ホース(1本) 取扱説明書(本書)
-------	--

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

MADE IN CHINA

消耗部品について

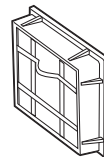
ダストフィルター、スポンジフィルター、排気口フィルターは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合、交換してください。
消耗部品のお求めは、お買い上げの販売店または、当社アイリスコールまでご連絡ください。



スポンジフィルター



ダストフィルター



排気口フィルター

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書

お買上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買上げ日より1年間です。
無料修理保証期間中に故障が起きた場合は、保証書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理致します。

補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明な点は

お買上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社 お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 **アイリスコール** 受付時間 9:00～17:00
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/> **0120-211-299**